
Jump Game

桜鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Jump Game

【コード】

N18150

【作者名】

桜鳥

【あらすじ】

全国大会を目指す中学生の少年。

次々とおこる謎の現象

彼の周りではいろいろな異変が・・・！！

どうなってるんだ・・・

program 1

- - - program 1 始動

4月22日 天候・晴れ 観察開始から11年と20日目。

ドクンっドクンっ

俺は今、人生の中で一番の緊張を迎えている。

シラトリ ジン

俺は桜坂中学校の二年生 白鳥 仁。

一年生の時から陸上をやっていた

そして今、【全日本陸上競技大会】の出場が決まる大会に出ている

自分の競技は走り高跳び、全国大会の標準記録は1m85cm

この記録を跳べば、全国大会に出場できるのだ

今ちょうど、1m85cmに挑戦している

この跳躍で俺の人生が変わる

『2505番！ 2506番準備！』

自分の跳躍は次。 クロイ ユウ

今はライバルである緋井 優の番

一年生の頃からのライバルで学校は違うがなんとというか・・・まあ親友かな。

優の跳躍を見たいところだが今は自分のことで精一杯

俺も早く準備をしなければならぬ

『フーッ！！！！！！！！』

会場から大きな拍手が上がった

顔を上げてみると雲ひとつない大空に拳を掲げていた
この盛大な競技場が歓声でいっぱいになった中
優は跳んでいた

ドクンっドクンっ

俺の鼓動はさらに高まる

『2506番！ 509番準備！』

俺の番が来てしまった

緊張で足が震える

後ろを見れば桜坂陸上部のメンバーが応援に来てくれている

白い旗が揚がった

『行きまーいーす！』

『はーいーい！』

皆の返事が緊張をほぐしてくれる

最後の三步のリズムアップを頭に浮かべる

そして最初の一步を踏み出す！

『泣くなっ』

駄目だ、涙が止まらない

今は先輩の腕の中いつもの先輩の甘いにおいがする
跳べなかった。

そんな中、先輩の顔を見たら涙がこみ上げてきた

『おまえには、来年あるじゃん。俺今年で引退だよ？』

なにも喋れない。

悔しい、今までの練習はなんだ！

- - END - -

Program 1 (後書き)

初連載！

読んでくださってありがとうございます(´▽｀)
もし良かったらコメントお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1815o/>

Jump Game

2010年10月10日01時49分発行